

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	3-2202
研究課題名	ポリオレフィン系廃プラスチックのケミカルアップサイクル技術の開発
研究実施期間	2022(令和4)年度～2024(令和6)年度
研究代表機関名	大阪公立大学
研究代表者名	田村 正純

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

従来は困難だったポリオレフィン系廃プラスチックのケミカルアップサイクル技術開発に関して、被毒物質耐性触媒開発、反応の数理モデル構築、LCAによるプロセスの評価など十分に評価できる成果を挙げている。ラボレベルから実用レベルへのスケールアップに必要な条件の提示を含めたプロセスイメージを提示してはいるが、触媒に用いるRuが十分に調達できるのか、膨大な量の廃棄物に対応できる技術となりうるのか、経済性の評価、導入普及のシナリオ提示など課題も多数残っており、社会実装を目指しての検討が必要である。本課題を発展させた課題が引き続き推進費に採択されていることなので、更なる発展を期待する。研究期間中、多数の特許が申請されているが、それにくらべると論文の公表数がやや寂しい。